

長岡市長記者会見要旨

日 時：令和6年7月19日（金）午前10時から

会 場：アオーレ長岡東棟4階 大会議室

【会見項目1：8月1日は「長岡市恒久平和の日」 平和の想いを次の世代へ伝える取り組みを実施】

（市長）

平和の想いを次の世代へ伝える取り組みについてです。

長岡市は昭和20年の空襲で、1488人の尊い命を失った県内唯一の大規模戦災都市です。

長岡市恒久平和の日である8月1日に、戦災で亡くなられた方々を追悼して平和を願う行事を開催いたします。

戦争が絶えない世界の状況を顕著に感じており、長岡から平和への想いを次の世代に伝え、広く発信していくことが大切だと思っています。

一つ目は、長岡市平和祈念式典です。

昭和60年にはじまった非核平和都市宣言市民の集いが発端となり、長岡市恒久平和の日条例が制定された平成27年からは平和祈念式典に名称を変え、今年で10回目となります。

例年行っている、亡くなられた方々への黙祷や献花、長岡空襲の体験談、非核平和都市宣言の朗読などに加え、折鶴の依託なども行います。

また、8月6日に広島市で開催される平和記念式典に参加する中学生の代表から平和の誓いを述べてもらいます。

二つ目は、ながおか平和フォーラムです。

市内中学生平和作品募集の入賞作品発表や、ウクライナの歌姫ナターシャさんによるコンサートなどを行います。

長岡市平和記念式典、ながおか平和フォーラムともに、ケーブルテレビと長岡市公式YouTubeチャンネルで生配信する予定です。各支所のロビーに設置するモニターでもご視聴いただけます。

三つ目は、鎮魂たむけの花です。

長岡空襲で亡くなった方々を追悼する市民献花を行います。今年で30回目になります。

長岡いけばなの会に協力をいただき、8月1日に長岡戦災資料館で開催します。

その他の平和行事として、7月31日に平和の森コンサートなどを行います。

（記者）

新たな取り組みはありますか。

（市長）

平和祈念式典について、昨年よりも広く参加者を呼び掛けているため、規模が大きくなる予定です。

（総務部長）

昨年の参加者は約660人でしたが、今年は約800人程度を見込んでおります。

今年の新しい取り組みとしては、長岡市平和記念式典での代表献花に、第27代高校生平和大使から献花に入ってくださいます。

その他、昨年度の取り組みとの違いとしては、ながおか平和フォーラムでの「市内中学生平和作品募集」入賞作品発表、各支所のロビーに設置するモニターでの生配信も、新しい取り組みとなります。

(記者)

どのように800人に増やすのですか。

(庶務課長)

新型コロナウイルス禍で、参加案内の人数を減らしていましたが、今年から案内の範囲を戻します。

(記者)

新型コロナウイルス禍以前は、800人程度参加していたのですか。

(庶務課長)

多い時には1000人程度が参加していました。

【会見項目2：慰霊と復興、平和への願いを込めて 令和6年「長岡まつり」を開催します】

(市長)

長岡まつりについてです。

今年の中越大震災と7.13水害から20年の節目の年です。

全国からの温かいご支援により復興を遂げた長岡で、慰霊、復興、平和への想いを新たに、長岡まつりを開催いたします。さまざまな団体が工夫を凝らし、まつり全体を盛り上げてまいります。

8月1日の平和祭では、昨年より3団体500人多い、3600人の踊り手が、長岡甚句と長岡大花火音頭を踊ります。

8月2日の観光ふれあい広場では、さまざまな観光資源のPRや、体験ブース、物産販売などを行います。

8月3日のわんぱくおまつり広場では、子供から大人まで楽しめる歩行者天国やステージイベントなどを開催します。

(長岡市大手通商店街振興組合 安藤理事長)

今年には猛暑対策を重点に、安心安全な長岡まつりを開催しようと思っています。

人気お笑い芸人の小島よしおさんをお招きし、パレードやステージでのお笑いライブをしていただきます。

(市長)

8月2日・3日の大花火大会についてです。

今年の中越大震災、7.13水害から20年目であり、長岡にとって大きな節目の年です。これまで全国からいただいた支援に対し、改めて感謝の気持ちを花火で表現したいと考えております。

また、1月に発生した能登半島地震の被災地へ、希望と勇気を届けるため、復興祈願花火フェニックスを特別バージョンで打ち上げます。これはNPO法人ネットワークフェニックスの皆さまのご尽力によるもので、多くの方々に感動を与える花火になると期待しています。

長生橋のナイアガラは、現在、橋の長寿命化の工事が行われており、安全確保のため今年中止といたします。長生橋は79年前の長岡空襲や20年前の中越大震災にも耐え抜いた、長岡のランドマークであり、来年は88年の米寿を迎える橋です。皆さまからはご理解いただきたいと思っております。

長生橋のナイアガラは中止ですが、長生橋ライトアップとコラボレーションした正三尺玉を打ち上げます。ぜひ楽しんでいただければと思います。なお、大手大橋のナイアガラ&ミュージックスターメインは、例年通り、両日とも打ち上げます。

大花火大会の詳細については、長岡花火財団から説明します。

(長岡花火財団 高見理事長)

1つ目は大花火大会についてです。

大型花火については、例年と同様、各日39台打ち上げます。

復興祈願花火フェニックスについては、長岡少年少女合唱団が歌う「希空（まれぞら）」の歌に合わせたミュージックスターメインからフェニックス花火にリレーする約7分の特別バージョンとなります。

この花火については、長岡市内の豊田小学校とオンライン交流を行ってきた石川県七尾市の小丸山小学校体育館において、鑑賞会を実施する予定です。両校は来年度以降、能登での花火打ち上げの実現に向け活動を進めています。

また、石川県の被災市町村の首長に対し、この特別バージョンの花火のご紹介を手紙でお知らせいたしました。

長生橋のナイアガラ花火については、今年は実施できません。

長生橋は現在橋梁を長く使用できるよう、塗装や鋼材腐食部の補修などの作業を行っています。ナイアガラ花火を行った場合、木部などへの引火の危険性が排除できないことから、安全性を最優先に考え、スポンサー様の了承を得た上で中止といたしました。

ナイアガラ花火に対する市民の皆さまの想いは、大変強いと承知しておりますが、何卒ご理解をお願いいたします。

オープニングで打ち上がる大手大橋のナイアガラ&ミュージックスターメインは、昨年よりバージョンアップして打ち上げます。

次に、待機時間軽減の取り組みについてです。

今年はエリア席の一部に「ブロック指定席」を新設し、長時間並ぶ観覧者を減少させることで熱中症対策を強化しました。

2つ目は、安全対策についてです。

昨年同様、約4400人体制で安全対策を実施します。

雑踏事故防止のための入場制限の周知として、JRやNEXCOと連携し、都内の駅でのポスター掲示や、高速道路SAのデジタルサイネージでの掲示など、チケットを持たない方が会場周辺に来ないように呼びかけを、昨年より広範囲に実施しています。今後は、県内の皆さまに対し、新聞折り込みなどで周知を進めます。

3つ目は、インバウンド対策についてです。

新しい取り組みとして、外国人専用のチケット購入サイトを開設し、250席分のチケットを販売いたしました。チケットの販売枚数については、まだ手探りで進めている状況です。

チケットについては、旅行会社を通じて販売しており、長岡駅前ではチケットの受け渡しを行います。会場までの案内拠点には、英語と中国語の通訳ボランティアを配置し、外国人来場者の対応を行います。

4つ目は、その他についてです。

年間を通して長岡花火を応援いただいている長岡花火オフィシャルパートナー8社から、社会貢献事業の一環として、花火観覧チケット320枚をご購入いただき、フードバンクなどに寄付いただきました。このチケットは、市民先行販売が終わり、余分があった北エリア席からご購入をいただきました。

今年から、インターネットでのチケット販売については、楽天チケットにお願いをしております。

ます。

また、楽天チケットでチケットを購入された方に対し、長岡の魅力を発信するサイトを開設いただきました。このサイトから、ふるさと納税や長岡の旅行案内、物産購入などをしていただくことを想定しています。

長岡花火財団では、今年も安全第一に花火大会を実施していきたいと考えております。

(記者)

事前にチケットが完売したことはありましたか。

(長岡花火財団 高見理事長)

完売は初めてです。

(記者)

完売が初めてというのは、全席有料にした後ということでしょうか。

(長岡花火財団 高見理事長)

有料チケットを販売するようになって初めてということですか。

(記者)

ここ3年間の話ですか。

(長岡花火財団 渡邊常務理事)

全席有料販売が今年で3年目になります。それから初めてということですか。

(記者)

チケットの高額転売については、どのようにみていますか。

(長岡花火財団 渡邊常務理事)

高額転売が起きていることについては、承知をしております。

対策として、今年は公式リセールサイトを7月8日から開設しております。これまで約600件申し出がありましたので、一定の効果が出ていると思っております。警察、弁護士と協議をし、さまざまな対策を考えてはいますが、決定的な対策は取れておりません。

引き続き、公式リセールサイトを利用していただくよう、周知を続けていきたいと考えております。

(記者)

例年と違い白菊と掲載されている経緯と理由、豊田小学校と交流のある小丸山小学校での鑑賞会について、具体的に教えてください。

(長岡花火財団 高見理事長)

白菊の名称は、嘉瀬煙火工業がお持ちになっておりまして、今回は8月2日・3日についても白菊という名前であげたいとご判断をいただきました。

小丸山小学校での鑑賞会ですが、8月2日に小丸山小学校体育館で、同校6年生とその保護者が鑑賞する予定です。7月24日に現地を確認させていただき、協力できることを打ち合わせて参りたいと思っております。

(記者)

チケット転売について、年々増えていると感じるが、財団の認識を教えてください。また、公式リセールサイト以外の対策を教えてください。

(長岡花火財団 高見理事長)

チケットが手元に届く時期を遅めたり、注意喚起などを行っていますが、決定的な方法がない状況です。

悪質な件や、転売者が明らかになりそうな件については、警察や弁護士などと協議をし、必要な措置がとれないか、検討して参りたいと思っております。

(記者)

転売が増えてくると有料化に対する不信感や、花火そのものに対するイメージダウンにも繋がりがねないと思いますが、どう考えていますか。

(市長)

法律的な枠組みの中で、どういった対策ができるかということは、しっかりと考えていかなければならないと思います。今後の大きな課題だと思っております。

(記者)

ナイアガラの花火について、中止は初めてなのか、また今回中止となった経緯を教えてください。

(長岡花火財団 高見理事長)

新型コロナウイルス禍で花火大会が中止になった時以外は、ナイアガラの中止は初めてです。工期をずらすことや、現実的な安全対策を構想できなかったことから、今回は中止といたしました。

(記者)

ナイアガラ花火の中止は最近出た話ではないと思います。また、伝統的な花火であり、市民の方々も思い入れがある花火だと思うのですが、今回の周知の方法についてはどう思っていますか。

(長岡花火財団 高見理事長)

多くのメディアの方に説明する機会として、本日の記者会見を選びました。

ホームページなどでの周知については、本日付けで行います。

タイミングについては、さまざまな議論があるかと思いますが、十分に説明を尽くしていきたいと思います。

(記者)

2日間の総経費の見込みを教えてください。

(長岡花火財団 渡邊常務理事)

花火打ち上げ経費も含めて約12億円です。

(記者)

過去最高額ですか。

(長岡花火財団 渡邊常務理事)

最高額です。

(記者)

例年はどのくらいの費用がかかっていたのですか。

(長岡花火財団 高見理事長)

例年は10億以内で納まっていたと思います。

(記者)

転売対策について、花火財団からフリマサイトなどの運営会社に対し、「この商品は転売禁止なので、載せないでください」などの依頼はしているのでしょうか。

(長岡花火財団 渡邊常務理事)

はい、依頼しております。

(記者)

それに対して反応はあるのでしょうか。

(長岡花火財団 渡邊常務理事)

「適切に処理をしております」と回答をいただいております。

また、欲しい方に行き渡る販売方法も併せて検討する必要があると思っております。

(長岡花火財団 高見理事長)

チケットをデジタル化することで、かなりの抑制力があると思います。しかし、夜間に複数の入口でチケットのチェックが可能かなど、多くの課題があり、フルデジタルによる転売防止策が取れていない状況です。

デジタル技術が進むことで課題が解決すれば、ぜひそういった方法も考えていきたいと思います。

【会見項目3：サルから農作物を守る！地域の取り組みを後押し 位置情報WEB公開と電気柵点検アドバイスを開始】

（市長）

サルによる農作物被害対策についてです。

市内栃尾地域と山古志地域の一部に生息するニホンザルは、4つの群れを形成し、合計約200頭が中山間地の耕作地を荒らしています。

被害防止対策として、サルの捕獲のほか、電気柵の設置などに対する支援を実施していますが、追加の対策を実施します。

一つ目は、サルの位置情報の公開です。

サルに装着したGPSで、位置情報を「ANIMAL MAP」として、栃尾および山古志地域の一部住民にウェブ上で公開します。農作物の収穫時期の調整などに活用いただきたいと思います。

8月1日から公開いたします。

二つ目は、電気柵点検員によるアドバイス事業の開始です。

電気柵設置経験者5人からなる「電気柵点検員」を編成し、電気柵の巡回・点検を実施します。

市が昨年実施した点検では、4割を超える電気柵で管理上の不備がありました。

8月20日から活動を開始する予定です。

ここで、「ANIMAL MAP」の活用について、デモンストレーションを行います。

（「ANIMAL MAP」の活用について、デモンストレーション）

（記者）

他の鳥獣と比べて、サルによる農作物被害はどの程度なのでしょうか。

（鳥獣被害対策課長）

令和5年度のサルによる農作物被害額は、約130万円になります。市内全体の農作物被害調査額が約2500万円ですので、全体の中ではそれほど大きくはありません。

（記者）

全体の中で、農作物被害が大きい鳥獣を教えてください。

（鳥獣被害対策課長）

イノシシによる農作物被害が一番大きいです。約2500万の被害額のうち、ほとんどをイノシシが占めています。

また、イノシシは水稻を荒らすので、水稻被害が一番被害額が多いです。

（記者）

サルとイノシシでは、被害作物が違うのですか。

（鳥獣被害対策課長）

サルによる水稻被害もありますが、畑の野菜などの被害がサルでは多く、イノシシは水稻の被害が非常に多いです。

(記者)

サル的位置情報を公開することは、全国的に珍しいのですか。

(鳥獣被害対策課長)

全国的な事例は把握しておりませんが、県内では阿賀町が導入していると聞いております。

(記者)

対象が栃尾および山古志地域の一部住民ですが、どれぐらいの件数ですか。

(鳥獣被害対策課長)

栃尾および山古志地区のそれぞれの班に対し、案内通知のようなもので周知いたします。その件数が約700件です。

(記者)

サル的位置情報公開のきっかけを教えてください。

(鳥獣被害対策課長)

住民の皆さまがサルによる農作物被害に苦労していたため、市で対策を考えました。

**【同時リリース：渇水対策を行う農業者団体を支援します
：楽天グループとのデジタル活用プロジェクトを実施】**

(市長)

1つ目は、渇水対策についてです。

土地改良事業により、事業者の渇水対策に対して補助金を交付します。ため池などの貯水施設の貯水機能回復のために行う浚渫（泥上げ）を令和6年度に限り補助対象事業とする弾力的な運用で農業者団体を支援します。

現年度予算で不足する場合は、予算措置も追加で考えていきたいと思っています。

2つ目は、楽天グループとのデジタル活用プロジェクトの実施についてです。

長岡花火のチケット販売を起点としたデジタル活用プロジェクトで、楽天との連携事業である「ふるさと納税」「長岡市公式アンテナショップ丸ごとながおか」のほか、「観光誘客」などへの関わりを誘発させるプロモーション連携を行うことで、経済波及効果や関係人口の創設を図ります。

【その他の質問事項】

(記者)

春先の渇水の影響で、被害が起きているため池がどの程度あるのか、また、支援の利用見込みを教えてください。

(農林整備課長)

ため池のひび割れの報告はありません。

利用見込みですが、春先の作付状況調査で、作付ができなかった箇所が31件ありました。そのうちの数件程の利用があると考えています。

(記者)

31件には、ため池も入っているのですか。

(農林整備課長)

ため池は入っておりません。

(市長)

ため池の場合は、容量を多くするために浚渫します。今から準備をしないと、来年の作付に影響するため対象にしています。

(記者)

市長選挙に関して、秋に向けて今どのように動いているのか教えてください。

(市長)

当面は長岡まつりを安全に、そして盛大に実施することに注力したいと考えております。その後、政策についての発表などを行いたいと考えております。

(記者)

柏崎刈羽原発に関する国からの説明会が15日に長岡で行われました。

市長は不在だったと記憶していますが、どのような説明が行われたと把握していて、どう受けとめているかお聞かせください。

(市長)

すべての質疑について、文字起こししたものを確認し、会場の反応は把握しております。

印象としては、納得のできる質疑にはなっておらず、まだ説明が十分されていないと感じました。

今後も、住民の皆さまに情報を公開し、丁寧な説明をやっていただきたいと思います。

しかし、説明会が開かれたことについては、評価をしております。

(記者)

住民への国の説明内容について、どう感じていますか。

(市長)

具体的にどのくらいの範囲で、どの程度のリスクがあるかを示しながら、住民の皆さまに説明をしないと、納得も準備もできないと思っています。そのような具体的な説明は、今までは少ないと思います。

(記者)

水道局の業務委託先において発生したネットワークへの不正アクセスについて、市長としての受けとめと、市としての対応を聞かせてください。

(市長)

業務委託会社からは全体像の報告を受けておりませんが、情報流出の痕跡は確認されておらず、情報が不正利用された事実も確認されていないとのことです。

不正アクセスを受けたネットワークへの外部からの経路は速やかに遮断し、外部からのアクセスができないような対策を講じていると報告を受けています。

今後は業務委託会社の報告を受け、対策していきたいと考えております。

(水道局長)

再発防止策として、個人情報を含んだデータについては、外部から隔離された環境で処理していただくよう業務委託業者の方に徹底をして参りたいと考えております。

調査は継続しておりますので、随時情報を入手し、対応していきたいと考えております。